

## 令和元年7月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和元年7月1日（月） 午前8時35分から午前10時20分
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

### ◇会議内容

#### <市長あいさつ>

- ・新年度となり新たな体制で臨んだ6月定例会は先月14日に閉会したところだが、今年度は市議会議員選挙があるので9月定例会は今月31日に開会される予定である。次の定例会に向けて、6月定例会の答弁で検討する等としたものについては、スピード感をもって取組を進めてもらいたい。また、政府は「骨太の方針」と「ひと・まち・しごと創生基本戦略」を先日閣議決定したが、国の動向について情報収集に努め、対応に遺漏のないようお願いする。
- ・参議院議員通常選挙は、今月4日公示、21日投開票と決定した。長野県選挙区は1つの議席を争う激戦になるが、くれぐれも市民から疑念をもたれるような行為は絶対に行わないよう注意するとともに、選挙事務に従事する職員にあつては正確な事務執行をお願いする。
- ・マイナンバーカードについては、昨年度、職員に対して一括申請補助を実施するなど、市が先頭に立って取得を進めているところだが、本市のカード交付率は6月1日現在で全国平均を下回っている。本日の議題にも関連するが、国においては「骨太の方針」の中で、2022年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを想定し、普及を強力に推進するとしている。各部局において職員の取得を奨励するとともに、関係団体等に対しても取得を働きかけるなどの取組をお願いする。
- ・7月から9月までは夏季休暇の取得期間となる。暑さによる疲れがたまりやすい季節が始まるので、体調管理に留意してもらいたい。筋力トレーニングなどの運動をして汗をかく習慣を付けて健康を維持するとともに、働き方改革が言われる中、業務に支障がないよう職場内でスケジュール調整して、十分な休養をとってもらいたい。
- ・本市では先駆的な取組のほか各種の地道な取組も行っているが、これらの取組を市民に知っていただくための広報が今一步という感じがしている。どうしたら報道に取り上げられるのかを考えるなど、発信力を強化するよう心掛けてもらいたい。

### 1 報告事項

#### (1) 平成30年度長野市産業団地事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から報告を行った。（資料1参照）

○質疑なし

#### (2) 平成30年度戸隠観光施設事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から報告を行った。（資料2参照）

○質疑なし

#### (3) <sup>こうりき</sup>高力ボルトの不足問題について（建設部）

標記事項について、建設部長から報告を行った。(資料3参照)

○質疑なし

#### (4) 平成30年度水道事業会計及び下水道事業会計決算について(上下水道局)

標記事項について、上下水道局長から報告を行った。(資料4参照)

○質疑なし

## 2 協議事項

#### (1) コンビニ交付手数料の引下げについて(地域・市民生活部)

標記事項について、地域・市民生活部長から説明し、協議を行った。(資料5参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

#### (2) 平成30年度第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果及び令和元年度指標・目標値等の設定について(環境部)

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。(資料6参照)

○質疑

[財政部長] 都市ガスの使用量はサンマリーンながのの通年稼働により増加とあるが、ながの環境エネルギーセンターの排熱をもっと利用できないか。

[文化スポーツ振興部長] ながの環境エネルギーセンターからは計画どおりの量の熱の供給を受けているが、運用してみた結果として、サンマリーンながので使用する熱量が多いので、不足する部分は都市ガスを使用している。

[市長] 焼却熱に余剰はないのか。ながの環境エネルギーセンターからの熱の供給量を増やすような改善はできないか。

[文化スポーツ部長] サンマリーンながのに供給可能な熱は全量を受給しているものと認識しているが、再度確認する。

[副市長] 今後はSDGsを計画に反映させる必要があると考える。

[環境部長] SDGsについて検討して計画に入れ込んでいきたい。

○今後の方向性

原案を了承。

#### (3) 健康レクリエーションセンターの利用料金について(文化スポーツ振興部)

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明し、協議を行った。(資料7参照)

○質疑

[市長] 小学校の水泳の授業での利用を進めていった場合、どのくらい受入できるのか検討してもらいたい。

[文化スポーツ振興部長] 年間を通して利用できるかどうかという話もあるので、検討する。

[副市長] 施設の収支改善のためには、収入増もちろんだが、支出を削減するための思い切った改善に取り組む必要があると考える。

[文化スポーツ振興部長] 指定管理者のほうで人件費等の削減に取り組んでもらっているが、支出削減についても更に検討する。

[財政部長] 料金改定は10月からとなるとのことだが、料金改定による収支改善の効果が早めに表れるようにして

もらいたいが、PRはどのようにするか。

〔文化スポーツ振興部長〕PR方法については指定管理者と相談して、早めに収入増の効果が表れるようにしたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (4) 真島総合スポーツアリーナの利用料金について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明し、協議を行った。（資料8参照）

#### ○質疑なし

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (5) 長野市公営住宅等ストック総合活用計画（案）について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。（資料9参照）

#### ○質疑

〔副市長〕人口が減少傾向であることから市営住宅の戸数を減少させるという計画案になっているが、一方で、貧困問題への対策として公営住宅の需要が高まるという要素については検討したのか。

〔建設部長〕貧困世帯の増加による公営住宅の需要の増加も考えられるが、計画は5年ごとの見直しとしているため、民間賃貸住宅に対する国の補助制度や犀南団地の中層耐火構造への建替えなどの状況を踏まえて、そのような需要への対応も検討していきたい。

〔副市長〕今回の計画案にも、貧困問題に係る需要についての考え方を入れるべきと考える。

〔建設部長〕そのような視点を今回の計画に盛り込めるよう検討する。

〔市長〕中山間地域の市営住宅で入居者がいないものはどのようにしていくのか。

〔建設部長〕耐震不足の住宅や土砂災害危険区域のレッドゾーンにある住宅は廃止するが、それ以外の住宅は存続させることを基本的な方針としている。

〔公有財産活用推進局長〕民間賃貸住宅の活用を積極的に行えば空き家対策にもなるので、民間賃貸住宅を活用した制度も検討してもらいたい。

〔教育長〕貧困問題や様々な特性をもった児童生徒の将来的な支援ということであれば、建設、福祉、教育を含めた総合的な見通しに立った施策が必要と考える。

〔副市長〕貧困世帯は民間賃貸住宅に入居しづらい場合もある。住宅施策は福祉部門とも連携して考える必要がある。

〔財政部長〕市営住宅の整備・維持管理に係る概算事業費の試算が出ているが、今回の見直しで事業費をどの程度圧縮できるのか。

〔住宅課長補佐〕今回の見直しにより数億円程度の圧縮になるが、単身高齢者向け住宅への転換など入所者のニーズに合わせた施設規模の縮小により今後更に事業費を圧縮していきたい。

#### ○今後の方向性

この会議での意見及び市議会等からの意見を反映させた計画案を再度部長会議に諮り、決定する。

## 3 その他

### (1) 長野市公立保育所等の副食材料費実費徴収額について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明を行った。（資料10参照）

#### ○質疑なし

以上